

# Google Classroomマニュアル テスト問題と採点

情報処理センター  
2020年度 作成

1

## Google Classroomにおけるテスト

- Google Classroomでは[テスト付き課題]を使用してテスト問題が作成できます
- [テスト付き課題] はGoogleフォーム（Googleのアンケート機能）を用いてテストを実施できる投稿設定です
- あくまでもアンケート機能の流用のため、テストに必要な機能がすべてあるわけではありません

Googleフォームの使い方を知する必要があります

2

## テスト環境について

- カンニング対策が困難です
  - ブラウザを使用して回答するため、Web検索、手元資料の確認を強制的に禁止することはできません
- 試験時間の決定が困難です
  - 時間管理するためには、Meetと併用してオンライン授業中に回答させるなどの工夫が必要です
  - 事前に公開期間を設定したい場合、公開期間を設定する項目がないため、以下の方法で代用することになります
    - 時間になったら手動で公開・非公開を切り替える
    - Google Apps Script (GAS)で制御する

3

## Google フォームの質問の種類

- 質問の種類は画像の通り複数あります



4

## 利用しやすい質問形式

テストに利用しやすい質問形式は以下のとおりです

- ラジオボタン（択一解答）
  - 正解が複数設定できますが回答者は1つしか回答できず、正解を選択すると正解になります
- チェックボックス（複数解答の完答）
  - 正解を複数設定し、完答すると正解になります
- 記述式（短文解答）
  - 複数正解を設定し、いずれかに完全一致したら正解になります
  - 単語熟語レベルの文字を入力する問題、詩歌等の固有文章など、回答が一意に決まる問題に向いています
- 段落式（記述解答）
  - 正解の設定はできないため、手動での採点になります

5

## 質問の作り方

- 画面右側もしくは下部にあるナビゲーションから**+**マークをクリックすることで新しい質問を追加できます
- 画面右上にある**👁**のマークで質問の見た目を確認することができます
- いくつかの質問を作ることができたら**⚙**マークで質問の設定を行います



6

## 質問のコツ

- テストの大問と小問のように、Googleフォームでも質問をセクション分けして少しずつ回答させることができます
- =のような記号がセクション分けのボタンです
  - クリックするとすぐ下の問題から次のセクションが始まります
- 解答者は、ページをめくる要領で一定の問題数ごとに質問に回答することができます



## 記述式

記述式は改行ができず短文(20文字程度)の回答に向いています

- [解答集を作成]をクリックすることで解答を作成ができます
- 主に①～③を設定することでテストとしての役割を果たすことができます
  - ① 正解となる文字を入力できます
  - ② 点数を入力できます
  - ③ 不正解の判定を自動で行えます
  - ④ 課題返却時にコメントを付けられます
- 正解は複数設定できます
- 答えとなる文字(単語)が**完全に一致**していないと不正解になります
- 表記のゆれ(団子・ダンゴなど)がある回答はすべて設定してください



## 記述式

- 右下の[⋮]をクリックすると[説明]と[回答の検証]が追加できます
- [回答の検証]により入力文字に制限をかけることができます
  - [数値],[テキスト]の内容制限や[長さ]による文字数制限ができます
  - [正規表現]が理解できる方はさらに高度な制限も可能です
  - 複数の回答制限はかけられません



9

## 段落式

段落式は改行ができ、長文での回答に向いています

- 正解の設定はできないため、手動の採点になります
- 配点に対して自由に点数を付けられます
- 記述式と同様に[回答の検証]が設定できます
  - 記述式とは異なり、[長さ]と[正規表現]のみです



10

## ラジオボタン

ラジオボタンは選択肢から一つだけ選ぶ質問になります

- 正解は複数設定できますが、回答者は一つしか選べません
- 正解を複数設定した場合、いずれの正解を選択しても正答となります
- 例えば右下の[:]の[説明]に文章を書いて穴埋めや単語選びの問題に利用することもできます

正しい解答を選択してください

日本では最も大きい都市府県はどこ？

- 京都市
- 札幌市
- 横浜市
- 新潟県

[回答に対するフィードバックを追加](#)

完了

以下の文章の(1)に入る文を解答しなさい\*

京都教育大学は、明治9（1874）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ、昭和24（1949）年に新制の国立京都学芸大学として出立以降今日まで、教員養成として140年の歴史と伝統を有しております。 時代や社会の要請に応じて、組織や課程等が変わることはありましたが、「(1)」という基本の理念や目的は一貫してきております。その理念や目的のもとに、学校教育をはじめ、社会教育や生涯学習等に携わる多くの優れた人材を輩出してまいりました。

- 科学者を育成する
- 教育者を養成する
- スポーツマンを育成する

11

## チェックボックス

チェックボックスは選択肢から1つ以上を選ぶ質問になります

- ラジオボタン同様、正解を複数設定できます
- 複数正解がある場合はすべて選択すると正解になります
- 右下の[:]の[回答の検証]より選択させる個数を指定・制限することができます
  - 正解が何個あるか分からなくしたい場合には設定不要ですが、必ず複数選択してほしい場合には便利です



The screenshot shows the question editor interface. On the left, there is a dropdown menu for 'Number of selections' (選択する個数) with a red box around it. An arrow points to the dropdown options: 'Select minimum number' (選択する最低個数), 'Select maximum number' (選択する最多個数), and 'Select number of selections' (選択する個数). On the right, there is a checkbox for 'Verify answer' (回答の検証) with a red box around it. The interface also shows a 'Show explanation' (説明) button and a 'Shuffle options' (選択肢の順序をシャッフルする) button.


12

## 自動採点について

- 選択肢タイプの問題はラジオボタン・チェックボックス・プルダウンを利用することで比較的容易にできます
- 記述式の採点の自動化は“特定の文字(短文)に限定して”できます
  - 固有名詞や単語レベルの和訳英訳など、答えが一つに限られるものに対しては効果的に利用できます
  - 別名や表記ゆれに対しての採点は個別に行う必要があります
- 長文記述は自動採点できません
  - 回答ごとに読む必要が出てくるので、レポート採点とほとんど同じ作業になります
  - 点数管理が行えるメリットはあります

13

## 採点の設定

- Classroomの上部  マークから設定します
- クラスの設定最下部に採点に関する欄があります
  - 詳しくは別のスライドで説明してあります
- また、テスト付き課題を提示するときに[成績のインポート]をONにする必要があります



14


## クラスルームでの採点結果

- クラスルームで課題を採点するとき、**[成績のインポート]**と、**[採点を生徒に返却]**しないと個々の回答を見ることができません
- 回答を見ることができですがフォームのタブが新しく開き、クラスルーム内で完結する操作ではありません



15

## 質問全体の設定 1/3

- 右上の  **マーク** から質問全体の設定をすることができます
- **[メールアドレスを収集する]** はチェックを外すことを推奨します。回答の送信などは不正(生徒間での正誤確認)につながります
- **[ログインが必要]** は必ずチェックが入っていることを確認してください。
  - これがないと外部の人も参加できます
  - **[回答を1回に制限する]** はテストとして利用するならチェックを推奨します
- **[回答者が行える操作]** (送信後に編集、概要グラフ...) もチェックを外しておきましょう
- 正誤・回答と点数パターンの流出により有効なテストにならない可能性が増えます



16



## 質問全体の設定 2/3

- 状況進行バーとは、現在の質問(問題)が全体の何問目かの目安になるものです
  - あると便利ですが、無くても困りません
- 回答(質問)の順序をシャッフルをすることもできます
  - 集計には影響はありません
  - クイズ感覚に近くなります
- [\[別の回答を送信するためのリンクを表示\]](#)は、同じアンケートを複数回答してもらいたい場合に使用します



17

## 質問全体の設定 3/3

- テストにすることでClassroomの自動採点を割り当てることができます
  - Classroomから[課題付きテスト]で作成した場合は自動でチェックが入ります
- ロックモードは専用の端末が必要になり、普通は使えません
  - 設定できるとパソコンからのカンニングはほぼ不可能になります
- [\[回答者が表示できる項目\]](#)は、テストの有効性を考えるとすべてチェックを外しましょう



18

## その他のフォーム質問形式

- 以降はテストには利用がしづらい質問形式を紹介します
- アンケートなどを作成する際に参考にしてください

19

## プルダウン

プルダウンはラジオボタンと選択の仕方が異なるだけで、できることは同じですので使いやすいほうを選んでください

- [回答に応じてセクションに移動]は、アンケートで回答に応じて次の質問を変えたいときに利用できます
  - 学年や専攻をプルダウンで選択させて、次のセクションからそれに応じた問題を出すという方法もあります

以下の文章の(1)に入る文を解答しなさい\*

京都教育大学は、明治9（1876）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ、昭和24（1949）年に新制の国立京都学芸大学として立出以降今日まで、教員養成として140年の歴史と伝統を有しております。時代や社会の要請に応じて、組織や課程等が変わることはありましたが、「(1)」という基本の理念や目的は一貫してきております。その理念や目的のもとに、学校教育をはじめ、社会教育や生涯学習等に携わる多くの人材を輩出してまいりました。

選択

科学者を育成する

教育者を養成する

スポーツマンを育成する

選択

この質問は必須です

以下の文章の(1)に入る文を解答しなさい

京都教育大学は、明治9（1876）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ、昭和24（1949）年に新制の国立京都学芸大学として立出以降今日まで、教員養成として140年の歴史と伝統を有しております。時代や社会の要請に応じて、組織や課程等が変わることはありましたが、「(1)」という基本の理念や目的は一貫してきております。その理念や目的のもとに、学校教育をはじめ、社会教育や生涯学習等に携わる多くの人材を輩出してまいりました。

1. 科学者を育成する	✓	X	次のセクションに続く
2. 教育者を養成する	X	X	セクション2（無題のセクション）に移動
3. スポーツマンを育成する	X	X	セクション3（無題のセクション）に移動

20

## 均等目盛・選択式(グリッド)・チェックボックス(グリッド)

- 年度や学期の最後に行うアンケートのようなことができます
  - 均等目盛は1問完結のアンケートで、回答は1つだけ選択できます
    - 点数は設定できますが正解は設定できません
  - グリッドタイプは複数ある質問に対して同じ評価項目で回答することができます
    - 選択式は1つの質問に対して回答は1つのみで、授業アンケートに便利です
    - チェックボックスは1つの質問につき複数回答が選択できます
- いずれも正解を設定できます

以下の欄目に答えてください\*

	強くそう思う	そう思う	どちらでもな い	あまり思わ ない	全く思わな い
教員は学生の 状況を見て課 業の進め方を 工夫していま したか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
授業の進度は 早いたいと思いま したか?	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
購入した教科 書を有効に使 えたと思いま したか?	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他質問を 随時できます	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

まだまだ質問は続きます\*

	列1	2列目	3列目	4列目
チェックは期間 でもできるのか な?	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2列目	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3列目	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4列目	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

21

## 日時

- 日付と時刻を選ぶと、回答者に日付と時間を入力させることができます
- 日付はカレンダーから選び、時刻は手動入力となっています
  - 日付の設定で時間を付け加えることもできます
  - 時刻の設定で経過時間を記入させることもできます(タイマーではなく回答者依存)
- 自己申告にはなりますが、テストや試験を開始した時間や終了した時間を入力させることで、回答時間を把握することができます
- いずれも点数は設定できますが、正解は設定できないため、テストへの利用は難しいでしょう

表示

説明

時刻を含める

年を含める

表示

説明

回答の種類

時刻

経過時間

22